

魚の城下町

Children of The Revolution
VOREAS
HOKKAIDO

2021
NO.307

町ホムーン♪ 公式Facebook 公式Instagram 公式LINE



みんなが主役のまち



びがびが又北海道が羅臼町へ

町内のバレーボール少年団と交流戦を実施

～ちろすほ(羅臼町民体育館)リニューアルオープン記念事業～

今月の主な話題

- ☑ 野生動物の管理と共存について考える 2
- ☑ 羅臼町120年記念事業の開催について 4
- ☑ 知床・羅臼まちづくり基金(最終報告) 10

ヒグマによる大被害から

野生動物の管理と共存について考える

ヒグマとの共存

知床半島にはヒグマが500頭前後生息するとされ、世界有数の高密度地帯となっています。知床では、生活や産業の営みと隣り合わせにヒグマの存在を意識しなければならず、時に交錯して問題となってきました。

羅臼・斜里では、出没件数が国内でも突出しており、関係行政機関が合同で広域的な管理体制となる「知床半島ヒグマ管理計画」を策定しています。

知床半島ヒグマ管理計画

計画づくりには、環境省及び、林野庁、北海道、羅臼町、斜里町、標津町がたずさわり、知床の自然保護・調査活動に長く携わってきた知床財団が関わっています。

本計画は、ヒグマの保護と管理の両面での方向性を示すもので、知床半島利用者（観光客等）の餌付け行為や住民等による誘引物の放置など人側の問題行動も課題ととらえ、ヒグマとのより良い関係づくりを目的に、段階的な取り組み事項を定めています。

問題行動を起すヒグマの管理（捕獲など）の方策については、出没個体の行動履歴に応じ、被害が進行する恐れを「表1」にあるとおり行動段階別で判断することとしています。「行動段階2」以上は「捕獲」対象として扱い、下位

(表1) 行動段階	
0	人との遭遇を積極的に回避
1	人を避けないが人為的食物を食していない
1+	被害の発生ないが人の所有物に強い興味を示す。
2	人の活動に被害発生。人為的食物を食した。あるいは、農水産物や家・人の所有物に被害
3	人に付きまとう、人を攻撃する

(表2) ゾーン区分		リスク	熊への許容度	利用者、住民責任	【※】例えば；行動段階「1+」が出没した場合の対応
		人身経			
1	・知床連山 ・遺産地山林山岳	わずか	大	大	番屋周辺では必要に応じ追い払い
2	・知床岬～相泊川間海岸線	低	大	大	番屋周辺では必要に応じ捕獲
3	・ルサ～ショウヅ川海岸部 ・峯浜地区酪農地域	高	小	大	基本捕獲。可能なら追い払い
4	・羅臼町市街（岬町～峯浜町） なお、周縁部では許容度軟化	高	最小	大	基本捕獲。市街周縁部であれば可能なら追い払い
特定管理	・相泊～ルサ ・湯ノ沢集団施設地区	中～高	中	大	番屋周辺部では必要に応じて捕獲

の「1+」であっても出没地域（ゾーン区分）によって捕獲扱いとなります。

一連の犬に被害を加えた加害個体は「行動段階2」に該当します。

このように実際の捕獲にあたって、行動段階と出没地域（ゾーン区分「表2」）を組み合わせて、総合的に評価することとしている理由は、知床では「世界自然遺産核心地」や、「住民居住地」、漁業番屋や農家集落が点在する「経済活動地」など、多様な地域特性を有するため、人との軋轢の強度に応じて、捕獲の必要性を判断することとしています。

「表2」が羅臼町でのゾーン区分で、ヒグマによる被害の想定リスクも示されています。

参考に「1+」の個体が出没した際の対応を追記してあります。（表之中【※】印欄）

仮にゾーン4に、「行動段階0」の個体が出没した場合はどうなるかと言っと、市街地であることから被害リスクが大きいと想定し「捕獲」扱いとなります。

捕獲扱いとなれば、地元猟友会と連携し体制を整え殺処分となりますが、銃は、規制に基づく条件下でなければ使用することができないため、捕獲が難しい局面も生じます。

すべ傍にヒグマが居るのが当たり前の環境

知床は、高山帯から海岸線まで原生的自然が残る、ヒグマにとって良好な生息環境であり、

餌となる食物は季節を通じ約100種に及びます。ヒグマは草本や果実を主食とする雑食性で、エゾシカや浜に出てきて漂着海獣も食べるほか、秋に遡上サケを捕食する光景は認知度が高く、本来、人との距離を保ち生活していますが、山の実りの豊凶にも少なからず左右され、出没の増減に影響します。

さらに知床では高密度で生息しており、中でも、オス成獣は300kgを超える体格を有し、人里から離れた食物が豊富な地域をテリトリーとして獲得することができ、行動範囲は数10キロに及びます。一方メス成獣や、幼獣を伴った母グマ、さらに亜成獣と言われる2〜3歳のヒグマは、オス成獣から離れた環境に身を置いたため、人の生活圏の周辺に居ることも少なくありません。しかも行動範囲は狭く、限られたエリアに定着するため、餌不足となる夏場は人里に急接近しやすくなると考えられています。

不法投棄はあってはならず、このような理由からも人側からヒグマを誘引する問題行為として撲滅を呼びかけています。「表2」でも示す通り全ゾーンで利用者、住民責任を「大」とし、ヒグマの存在を意識した行動を求めています。また地域事情として一般家庭も含め、水産物を扱う漁業や関連施設も多く、無意識のうち誘引してしまふ可能性があり、人との接近や問題グマを生まないよう、残渣処理の厳格な管理をお願いしているのも、地域住民が安全に生活するために他ありません。

なぜ、犬を襲つた熊があらわれたのか

(事件概要や個体特徴の詳細は町HP掲載)

本年6月発生の子犬被害は2018、2019

年に起きた犬被害事件を含め、全て同一個体の仕業であることがわかりました。過去から蓄積されてきた知床のヒグマの遺伝子分析情報と紐づけられ、2013年斜里町の国立公園内で初めて確認されたことが判っています。

現在は10歳以上、推定200kg(オス)の体格に成長し、過去の接点からも知恵をつけ、用心深い特徴を有すると考えられます。

2020年11月「ヒグマとヒトの今を知る(主催:ヒグマの会・北大獣医・野生動物学教室)」に宛てた担当職員への寄稿文からなぜ犬を襲つたのかを考える事ができます。

近年クマの人馴れが進み、人間の活動地域や居住環境への進出が全国各地で話題となっている。クマが居住環境に近づいた際に、最初にそのことに反応するのは外飼いの犬であり、犬の性質にもよるが、多くの犬はクマに向かって激しく吠えたてるだろう。クマの方にとっては、居住環境に近づく際に最初に邪魔になるのは犬になる。その犬が自分に向かって激しく吠えてくると、それをクマは自分にとって目障りな敵と見なすのではないだろうか。敵を倒した後に食ってしまうのはクマには当然の流れだと思われる。食害の状況からも、犬がクマにとつてとても魅力的な食物になっているとは思えない。馴れない人間の居住地域に近づくのは、通常のクマにとつてはかなりの緊張を強いられるはずである。しかし居住地域にある程度馴れてしまった個体にとつて、繰り返し自分に敏感に反応してくる犬は、倒すべき最初の敵と認識する可能性があるのではないだろうか。そう考えると外飼いの犬の被害は、クマの人馴れ、居住地域

馴れの次の段階に十分起こりうる被害なのかもしれない。各地で犬の食害が起こる前に、あるいはクマにとつてのその次の敵が人間と認識される事例が起こる前に、現状を何とか変えていく必要があると感じる。

試みの一つとして、羅臼町では今年から各町内会ぐるみで居住環境周辺の草ヤブを刈り払うイベントを実施した。10町内会と...

ヒグマの生態をあらためて知ることが重要

加害個体を生んだ母グマもDNAが特定されていて、人里近くで生活していたことが分かっています。もしかしたらこの個体は、多感な子グマ時代に、母親と共に人の生活圏に侵入して良い思いをしていた可能性が有ります。ヒグマも人と同じく多様な性格を有し、それは個々の経験によって千差万別に培われていきます。普通のヒグマはペットや家畜を捕食することはありませんが、その多様に培われていく性格のごく極端な場合に、今回の犬を襲つた個体や、まれに生じる家畜やペットを捕食するものが出現するのではないのでしょうか。

ヒグマの様々な性格がもたらす状況に対応するためには、その生態の理解が不可欠であり、すでに羅臼の子ども達には各学校で10年以上前から「ヒグマ学習」が施されています。そこをスタート地点とし、陸の生態系の頂点に君臨するヒグマとの共存を通じて、知床・羅臼の自然を深く理解し、野生動物と人間のより良いあり方を目指すことが、世界自然遺産地域に住む私たちの向かうべき姿勢ではないでしょうか。今回の事件は、そのことを改めて考えるきっかけとなるのかもしれない。

羅臼町



120年記念事業の開催について

昨年度、羅臼町は開基120年・町政施行60年を迎え、節目を祝う記念事業を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受け、止む無く開催を断念しました。今年度こそは、感染症防止対策の徹底や道内の感染症状況に合わせた実施方法を模索しながら、全記念事業の開催を目指していきます。

「120年記念写真展」開催中!

今年度の記念事業第1弾として、「らうすぼ(羅臼町民体育館)」のリニューアルオープンに合わせて、「らうすぼ」1階で記念写真展を開催しています。この写真展は、昭和17年頃のニシン漁から始まり、それぞれの年代の象徴的な出来事や建造物を写した全100枚の写真を展示しています。写真展を通して羅臼の歴史を振り返り、改めてふるさと羅臼を知る機会としていただき、郷土愛を深めてもらえればと考えています。写真展の開催期間は7月30日(金)までとなっておりますので、まだご覧になっていない方はお早めに「らうすぼ」までお越しください。また、羅臼町公式YouTubeでは、写真展で掲示されている写真をスライド形式の動画に編集して公開していますので、こちらも是非ご覧ください。

羅臼町公式YouTubeで公開中の動画はこちら



汲み船に満載にされたニシン

(昭和17年 撮影)

ニシンを満載した汲み船。この年には約1,500トンもの水揚げがありました。6丁權の汲み船から勇壮なキリ声(網をあげるときの掛け声)が聞こえてくるようです。



▲掲示している写真と説明文の例



▲らうすぼリニューアルオープン時の様子

これから予定している記念事業について

記念写真展を皮切りに、今後も左記のと通りの記念事業を予定していますので、町民の皆様には感染症予防対策を十分に行った上で、各事業へご参加いただけたらと考えています。

1 120年記念式典

羅臼町120年を祝う式典を行います。また、これまで当町の発展に貢献していただいた方々に対して、特別功労者表彰等を予定しています。

2 大使記念ミニコンサート及び抽選会

羅臼町の大使である吉幾三様、沢田知可子様、町民限定ミニコンサートを行います。また、同じく羅臼町の大使であるにっぽん丸様及び(株)バスクリン様の提供による記念品抽選会を実施します。具体的な開催時期は未定ですが、感染症予防対策を徹底し、安全に配慮した実施を目指します。

3 大使によるPRイベント

羅臼町の大使である三國清三様による羅臼町PRイベントを首都圏で行います。移住関係イベントと連携しながら「知床羅臼」の魅力を「食」を通じて発信します。

4 タイムカプセル開封式・收藏式

羅臼町100年記念で收藏したタイムカプセルの開封と未来に向けた新たなタイムカプセルの收藏を行います。

5 その他の記念事業

メイン事業の他、「広報らつす特別号」の発行や既存の町内関係団体が実施する各事業に「羅臼町120年及び町政施行60年」の冠をつけて周知するなどの事業を予定しています。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況による中止や変更等が発生する可能性がありますので、ご了承ください。

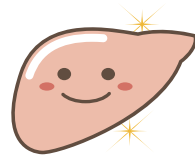
未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況ではありますが、その時にできることをできる形で実施して、羅臼町の記念すべき節目を町民皆様と共有できればと考えています。

今回の各種記念事業は、先人が築いてきた120年の歴史と伝統に感謝するとともに、羅臼町の魅力を再認識し、知床羅臼町を次の世代へ引き継ぎ、更に発展させていくため、子どもから大人までの全ての町民が夢と希望が持てる事業とすることで、町民一人一人が「ふるさと羅臼町」への誇りや愛着心をより深め、お互いが協力し合うまちづくりの推進を図ることが、主な目的となっています。目指す輝かしい未来のために、各種記念事業に取り組んでいきますので、町民皆様におかれましても、当町の節目を意識していただき、各種事業へのご参加やご協力をいただければと思いますので、今後ともよろしくお願いたします。

7月26日から8月1日は肝臓週間です

ヘルス
チェック

肝臓は、人間最大の臓器。（およそ1kg～1.5kg）沈黙の臓器といわれ、なかなかSOSを出しません。肝臓にまつわる病気として国内最大級の感染症といわれるウイルス性肝炎があります。ウイルス性肝炎の原因はその名のとおり、肝炎ウイルスの感染。肝炎ウイルスにより、肝臓の細胞が少しずつ壊れていきます。ウイルス性肝炎は自覚症状がなく、知らないうちに進行し、肝がんになっていることもあります。



B型・C型肝炎は肝炎ウイルス検査（採血）により、感染の有無を調べることができます。過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない方は、検査をお受けになることをお勧めします。肝炎ウイルス検査は医療機関や町が行う総合健診などで受けることができます。

近年、B型・C型肝炎治療は進み、飲み薬での治療もできるようになりました。これまで検査を受けたことがない方はこの機会に肝炎ウイルス検査を受けましょう。

保健福祉課 TEL 87-2161

子育て情報ひろば～すくすく～

ありんこは月～金
9:30～11:30まで
火・水・木は午後も開放!



令和3年度の開放がスタートして間もなく緊急事態宣言が発令され、お休みになってしまいました。解除後にはまた遊びに来てくれて「ありんこ」に活気が戻ってきましたよ！引き続き予防に気を配りながら、たくさん遊ぼうね！

♪ 8月・9月のありんこ情報 ♪

☆ありんこ広場（0歳～3歳対象） ☆すくすく広場（1歳未満対象・妊婦さんの見学可） ☆のびのび広場（2歳～3歳対象）

8月4日(水) ありんこ広場	8月6日(金) すくすく広場	8月11日(水) ありんこ広場	8月16日(月) 開放お休み
8月18日(水) ありんこ広場	8月25日(水) ありんこ広場	8月27日(金) のびのび広場	9月1日(水) ありんこ広場
9月3日(金) すくすく広場	9月6日(月) ママの日♪	9月8日(水) お祭りごっこ	9月10日(金) かもめ号
9月15日(水) ありんこ広場	9月22日(水) ありんこ広場	9月24日(金) のびのび広場	9月27日(月) 計測
9月29日(水) ありんこ広場			

*お祭りごっこは事前に申し込みが必要です。詳細はありんこ通信でお知らせします。

*毎週火・水・木曜日の13時～16時まで一時預かりを行っています。事前にお申込み下さい。

お問い合わせ先：羅臼町子育て支援センター『ありんこ』 TEL88-1515

知床らうす国保診療所通信

～みんなで育む・みんなの診療所～

木島所長より Vol.8

みなさんにまずお伝えしたいことは、コロナウイルス感染症の現在についてです。町内でも5月に数名の感染者が発生しました。現在まで流行というほどの発生はありませんが、ニュースで流れているように、今後変異株の流行が広がってくる可能性がないとはいえない状況です。

5月より65歳以上の町民のみなさんへのワクチン接種が始まって、役場での集団接種と当院での個別接種が並行して行われています。7月1日以降は、当院では65歳未満の町民の皆さんに対しても、ご案内をしています。

コロナウイルス感染症のワクチンには感染の確率を10分の1ほどまで低下させる効果と、重症化をある程度防げる効果が見込まれています。また、今後ワクチンを接種した人に対しては、これまで控えていた移動や飲食などの行動のほとんどを以前と同様に行えるようになることが見込まれています。

こうしたことから、ワクチン接種の副反応もないわけではないですが、ぜひとも多くの町民のみなさんにワクチン接種を受けていただくことをおすすめしています。



新型コロナワクチン接種について

診療所での個別接種ですが、診察と並行しての接種のため人数制限、希望日の予約に添えない事がありますがご理解・ご了承いただきますよう宜しくお願いします。

PCR自費検査

当院ではPCR自費検査を行っています。予約制になっておりドライブスルー方式で検査を行います。唾液を採取する検査方法で痛みなく検査を受けることができます。約2日後に結果がわかります。検査希望・お問い合わせは診療所まで連絡をお願いします。



後期研修医の受け入れ

8/1から9/30まで埼玉石心会病院より専攻医（後期研修医）が診療所に勤務します。



羅臼町の皆様、このたび知床らうす診療所で勤務させていただくことになりました医師5年目、循環器内科の谷 昂大と申します。普段は心筋梗塞や心不全などの心臓病を中心に救急医療に携わっておりますが、後期研修医として外病院で研修できる機会を頂戴しまして、是非地域に根付いた医療を学ばせていただきたく選択させていただきました。知床の地は過去に訪れたことは一度もないのですが、先立って研修を終えられた渡辺先生からは、非常に温かい羅臼町の皆様に囲まれて最高の時間を過ごすことができたとお聞きしており、今からワクワクして待ち遠しく感じております。短い期間になりますが、少しでも皆様のお力になれるよう努力いたしますので、何卒よろしくお願いいたします。

～予約・お問い合わせ～ 知床らうす国保診療所 Tel.87-2116





新型コロナウイルス感染症の感染状況は、まだまだ予断を許しません。が、図書館は北海道の緊急事態宣言解除にあわせて6月21日より開館しています。

『どうしんDB（データベース）』は開館再開と同時に利用者の方に提供スタートした図書館の新サービスです。

**どうしんDBって
どんなもの?**

北海道新聞社が提供しているサービスで、北海道新聞に掲載された記事をインターネットで検索できるというもの。全道版は1988年から、地方版は1993年からの記事が収録されています。

こんな時に便利! どうしんDB

〈例1〉「羅臼」*に関する記事で最近どんなものがあるの?



→検索画面で「羅臼」と入力して検索すると…
タイトルや本文に「羅臼」が入っている記事一覧が表示されるので、そこから気になる記事全文を確認できる

〈例2〉2020年7月には、どんな「クマ」*に関する記事があったの?



→検索画面で「クマ」と入力、期間を2020年7月に指定して検索すると…
指定した期間中の「クマ」に関する記事一覧を確認できる
*検索時は自分が調べたいもののキーワードを入力してください。

◎その他にも1面の記事、社会面、経済面といった面名での検索や、掲載されているコーナー名（卓上四季など）からも検索可能♪



◎どうしんDBは、図書館内に設置してあるタッチパネルでどなたでも自由に利用できます! さらに、検索した記事は有料にはなりますが、印刷することもできますよ! 詳しくは図書館職員まで(^^)!

新コンテンツ
「今日の1冊」
で新たな本との出会い!

「今日の1冊」は、6月から更新をスタートした図書館HPの新しいコンテンツです。図書館に所蔵のある資料の中からランダムに、毎日1冊ずつ紹介していきます。お見逃しなく!



また、図書館HPでは蔵書検索が可能となっており、目当ての本が貸出中の場合は、HPから直接予約することもできます! (要事前登録)

図書館HPへはこちらから



【問い合わせ】

羅臼町図書館

TEL 87-2004
FAX 87-2256

**おうちでの読書（家読）をサポート！
第2期羅臼町子どもの読書活動推進計画
（令和3～6年度）策定**



羅臼町教育委員会では、

「北海道子どもの読書活動推進計画（第4次計画）」を参考に、第1期計画の検証結果・課題等を踏まえて本計画を3月末に策定しました。本計画の特色と具体的に取り組んでいく家読推進事業について、概要をお知らせします。

計画の特色について

本計画の特色は3つあります。

1点目は、地域の課題である生活習慣の改善と読書習慣の定着を結びつけながら、子どもの読書活動を推進すること。

2点目は、学校図書館に学司書を配置し、子どもにとって一番身近である学校図書館の整備を進め、図書館との協力体制を深めること。

3点目は、家庭における読書の取り組みを進めること。

この3点目为本計画の新たな特色です。



家読推進事業

◎家読セットの貸出（年齢など別のセットをつくりより絵本を選びやす〜）

◎セカンドブック（小学校1年生で再度絵本を読むきっかけを！）

◎読書登山（長期休業中に親子で本を読もう！）

本計画に則り、右記家読推進事業を新たに実施していきます。

**らうすぽ
リニューアルオープン！
（羅臼町民体育館）**



▶らうすぽリニューアルオープン記念式典
テーブルカットの様子

平成31年3月より利用休止としておりました羅臼町民体育館が、令和3年7月1日（木）にリニューアルオープン致しました。

この度のリニューアルオープンでは、トレーニングルームや調理実習室の利便性向上、乳幼児期の子ども達に向け遊具を配置したプレイルームの設置など、施設の魅力化を図りました。多目的ルームや会議室もあり、スポーツだけではなく文化的事業も楽しむことができます。

<お問合せ先> 社会教育課 TEL 87-2004



知床・羅臼まちづくり基金 **最終報告**

寄付者や町民のみなさまへ

知床・羅臼まちづくり基金はふるさと納税導入後の平成27年12月1日より「地域資源を活かした活力ある産業のまちに関する事業」、「一人ひとりが輝ける地域医療、保健、福祉、介護のまちに関する事業」、「自然環境に配慮し安心安全に暮らせる快適なまちに関する事業」、「豊かな心身を育み、明日へとはばたくまちに関する事業」、「持続的な行財政運営ができるまちに関する事業」および「その他、目的達成のために町長が必要と認める事業」を合わせた6項目を政策メニューとして位置づけ、基金の運用をしております。

昨年度は、ふるさと納税による寄付を中心として、全国各地から個人・法人合わせて25,282件ものご寄付を賜り、総額216,398,617円を知床・羅臼まちづくり基金に積み立てることができました。

ここに、令和2年度の基金運用状況の最終報告をさせていただきます。

1 基金の状況

	令和元年度以前 基金・件数		令和2年度 基金・件数		合 基 金・件 数		令和2年度の 基金の運用額	令和2年度基金 運用後残額
地域資源を活かした 活力ある産業のまち	254,867,208円	37,087件	89,355,243円	10,110件	344,222,451円	47,197件	6,924,881円	337,297,570円
一人ひとりが輝ける地域医 療、保健、福祉、介護のまち	97,161,138円	16,191件	34,443,394円	4,194件	131,604,532円	20,385件	10,046,260円	121,558,272円
自然環境に配慮し安心安 全に暮らせる快適なまち	110,499,284円	17,680件	28,919,400円	3,407件	139,418,684円	21,087件	15,840,300円	123,578,384円
豊かな心身を育み、 明日へとはばたくまち	28,111,566円	7,739件	16,350,014円	2,045件	44,461,580円	9,784件	6,355,600円	38,105,980円
持続的な行財政運 営ができるまち	22,621,513円	3,231件	5,120,113円	627件	27,741,626円	3,858件		27,741,626円
その他、目的達成のため に町長が必要と認める事業	179,116,623円	26,354件	42,210,453円	4,899件	221,327,076円	31,253件		221,327,076円
合 計	692,377,332円	108,282件	216,398,617円	25,282件	908,775,949円	133,564件	39,167,041円	869,608,908円
運 用 益	367,253円		6,051円		373,304円			869,982,212円

2 基金の運用

基金を運用し、「地域が提案するまちづくり助成事業」「ホタテ放流事業」「タコ産卵礁設置事業」「放課後児童クラブ運営事業」「各種子育て支援事業」等様々な事業を行いました。

今後も、産業活性化事業や自然保護、子育て支援策等の取り組みに有効に活用させていただきます。

これからも全国各地の羅臼ファンの皆様の温かいお気持ちを大切に、魅力的なまちづくりに取り組んで参ります。



知床スミレエコプロジェクトによる「おさかなEM菌手作り石鹸商品化事業」の様子。「地域が提案するまちづくり助成事業」を活用し実施されました。

寄付者の方々

(順不同・敬称略)

・北海道コカ・コーラボトリング(株) 札幌市 ・(有)中谷漁業部 羅臼町 ・札幌美容協同組合 札幌市

(注1) 寄付者について、氏名の公開を希望されていない方の掲載はしていません。

(注2) 住所は寄付時の住所となります。

○知床・羅臼まちづくり基金については、羅臼町ホームページでもご覧いただけます。 <https://www.rausu-town.jp>

あしたへつながる防災知識

第28弾

天気予報等で用いる用語を確認しよう

令和2年7月3日から7月31日にかけて熊本県を中心に発生した集中豪雨「令和2年7月豪雨」。この集中豪雨では逃げ遅れた方が土砂崩れに巻き込まれてしまうなど、多くの被害がでてしまいました。

雨の最新情報を迅速に収集し、正確に知ることができればこのような被害も抑えることができるかもしれません。

今回は雨の情報を正確に知るために天気予報等で用いる用語を確認していきましょう。

雨の強さと降り方

出典：気象庁（平成12年8月作成）（平成14年1月一部改正）（平成29年3月一部改正）（平成29年9月一部改正）

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上 ～ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声がよく聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上 ～ 30未満	強い雨	どしゃ降り	傘をさしてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく		
30以上 ～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る			道路が川のようになる	高速走行時、ハイドロプレーニング現象が生じる
50以上 ～ 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
80以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる				

（注1）大雨によって災害が起こるおそれのあるときは大雨注意報や洪水注意報を、重大な災害が起こるおそれのあるときは大雨警報や洪水警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは大雨特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

（注2）数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測・解析したときには記録的短時間大雨情報を発表します。この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。なお、情報の基準は地域によって異なります。

気象庁のホームページではリアルタイムな気象情報や数時間先の雨量などをわかりやすく知ることができます。自分の身を守るために住んでいる地域の天気の日頃から注意を向けましょう。

総務課 防災係

わたしたちが地域おこし協力隊です

関西人がみた知床・らうす



羅臼で暮らし始めて3か月。「羅臼に慣れたか？」とよく聞かれますが、初めての経験や大自然に圧倒されてばかりで、慣れには程遠い、まだまだ新鮮な気持ちです。

休日は毎週のように観光船に乗って「今日こそシャチ見れるかな？」とチャレンジしています。野生のシャチを見たことある人なんて、日本に数%しかいないんじゃないでしょうか。地元の友人にシャチの動画を送りまくって自慢しています。

ウトロへ出かけたときには、置物かと思うぐらい当たり前に道路わきにヒグマがいたり、シマフクロウが見られると噂の宿に行って朝まで撮影にチャレンジしてみたり、ココにしかない自然を日々堪能しています。

多少の衝突はありながらも、人も動物も羅臼が好きでずっとこのまちに住んでいるんだなと思うとその一員になれたような気がして嬉しさを感じます。羅臼のまちを作ってくださった先人たちや、動物と人が共存できるように取り組んでくださっている方々に感謝しながら、自分もこのまちのためにできることを探していきたいと思います。

(企画振興課地域おこし協力隊：佐脇)

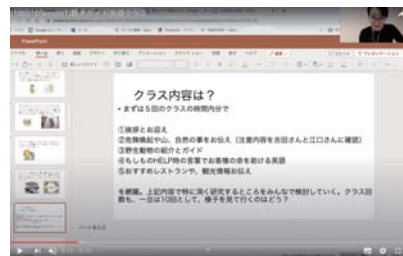


羅臼って海洋学研究者の町ですか？

— 実はたくさん持っていることについて —

皆さんこんにちは！お仕事や学校生活は順調でしょうか？私はというと実は大変でした…。改めまして福岡から来た城です^^ 羅臼町を語学面からサポートする任務にありながら、知り合いもない、どこに語学で困っている人がいるか皆目見当つかない。そんな中、役場職員の方々が橋渡ししてくださり「観光船事業者向け英語クラス」がスタート。この3、4カ月で様々な活動が進行中です。そして“すごいな…”と思ったのです。羅臼町の方々は「実はたくさん持っている」ことが。例えば観光船の方は鯨類の専門知識をお持ちで、まるで海洋学研究者のよう！また、山を相手にどう振舞うのかを知っている方もいる。他にも歌の上手い人や情報収集が得意な人。本人は当たり前と感じているようですが、それは非常にすごいことです！もしかしたら、この特別な地域に住まれていることが当たり前という感覚に共通するかな？とも思いました。そのすごいところに語学をコラボして、いま面白い化学反応が起きているところです。おかげさまで、私はその機会を創出することが役割だと気づくことができました。ありがとうございます！今後も皆さんと磨きあっていければ嬉しいです^^

(社会教育課地域おこし協力隊：城)



自然を守り自然に守られる暮らし

先日、オオセグロカモメの雛が孵っているのを発見しました！卵の発見から孵化までの約1ヶ月近く、局長と共に巣の観察を日々の楽しみとしていました。観察を続けていると、時期によりカモメの私たちに対する反応や対応、威嚇の声などが変化していきました。卵を生んでしばらくの間は卵から離れ大きな声を出す事で敵

(人間)の注目を集め、まるで自分が身代わりになろうとしている様に見え、卵を犠牲にしても自分が生き残り命をつなぐのだという様子にも見えました。

そして無事に孵化した今、親カモメは片時も雛の側を離れません。野生動物から学ぶことはあまりにも多く、それは哺乳類や鯨類、鳥類などの派手な動物、絶滅危惧種などの注目を集める動物だけではなく、当たり前に見る事が出来る昆虫や魚たちも同じです。そんな命の授業を日々受けられること、関心を持ち語り合える仲間がいることに幸せを感じています。

(産業創生課地域おこし協力隊：土井)



町では協働のまちづくりを推進しています。
ここでは、町民や団体が自らの意思で「協働のまちづくり」を
実践している方々を中心に取り上げ掲載していきたいと考えて
います。みなさんも「協働のまちづくり」にご参加下さい！



5月16日(日)・30日(日)・6月6日(日)・20日(日)・27日(日)

新型コロナワクチン接種実施中！！

羅臼町役場にて感染防止対策を実施しながら新型コロナワクチン集団接種が行われました。これまでの実施状況は2回目済者966名、1回目のみ済者619名（7/1 12:00現在）となっています。（集団・個別含む）集団接種のほか、平日には知床らうす国民健康保険診療所にて個別接種も実施しています。新型コロナワクチン接種情報は町政だより、防災無線、町ホームページ等で随時お知らせしていきますのでご確認ください。



6月25日(金)

町内会でクマ活スタート

各町内会では、市街地へのヒグマの出没を防ぐため通り道になりそうな場所の草刈りを行っています。この事業は、令和元年度のヒグマ出沒件数が過去2番目を記録したことや危険な事例が相次いだことから昨年度から町内会に要請し、地域活動として本格的に開始されました。草刈り事業の効果もあって、昨年度のヒグマ対応件数は167件と前年度に比べ37%減少しました。



今年度は、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言を受け、作業日程が延期になったものの、6月25日から順次スタートさせ、既に10町内会で実施されています。

ヒグマが出没しにくい環境づくりを地域全体で取り組むことで町民の生活を守り、ヒグマとの共生にもつながっていくことと思います。

なお、今年も地域貢献として次の建設事業者のご協力をいただきました。

小野建設工業(株)、小川建設(株)、尾田建設(株)、鈴木産業(株)、山洋建設(株)羅臼営業所、山洋・尾田・寺井・中村・西尾JV



7月12日(月)

むし歯のない子の表彰式

幼稚園の歯科健診で、むし歯のなかった子の表彰式が行われました。

今年度、むし歯のない年長のお子さんは11名でした。これからも歯みがきと仕上げみがきを続け、間食に気をつけて健康な歯を保っていきましょう。



令和3年度 年長組で虫歯のなかったお子さん

峯浜町	アライ ヒロキ 荒井 広樹くん	知昭町	サトウ オウセイ 佐藤 凰惺くん	海岸町	キクチ イツキ 菊池 樹くん	岬町	アリムラソウイチロウ 有村蒼一郎くん
春日町	カタヤマ ワカナ 片山 和奏ちゃん	富士見町	ナカムラ タイヨウ 中村 太耀くん		クワハラ ユア 桑原 羽愛ちゃん		タケコシ キシン 竹越 貴信くん
八木浜町	マスタ ハナ 増田 陽菜ちゃん	船見町	ワカスギ ノア 若杉 希愛ちゃん		サトウ メイ 佐藤 瞳衣ちゃん		

ふるさと

根強い外交を願う・・・
北方領土は日本固有の領土



筆者紹介

千島歯舞諸島居住者連盟 たかおか 高岡 ただいち 唯一氏

昭和10年に歯舞群島多楽島で生まれる。昭和20年まで北方領土の1つである歯舞群島多楽島で過ごし、第2次世界大戦終了後、当時のソ連軍の侵略により同年9月に根室市へ引き揚げる。その後羅臼町に移り住み、現在に至る。

毎年、修学旅行生や北方領土返還要求県民会議などの青少年に対し、年10回程度の語り部講師を務めるなど北方領土返還要求運動の啓発・普及に日々活躍している。

1956年の日ソ共同宣言には『両国間に正常な外交関係が回復された後、平和条約の締結に関する交渉を継続することに同意する』また、『ロシアは歯舞群島及び色丹島を平和条約が締結された後に日本国に引き渡すことに同意する』旨が明記されています。また、過去の条約、宣言、声明、そして歴代の総理・大統領間の会談等、そして2003年小泉内閣総理大臣とプーチン大統領は、これまでに達成された諸合意に基づき、精力的な交渉を通じて、択捉島、国後島、色丹島及び歯舞群島の帰属に関する問題を解決することにより平和条約を可能な限り早期に締結し、もって両国間の関係を完全に正常化すべきであるとの決意を確認。

このことから北方四島の元島民は「ふるさとの想い」をもって返還を願いました。

TAXコラム

(税務財政課通信)

「町税及び国保税の第1期分の納税は、お済みですか？」

令和3年度分の町税及び国保税の第1期分の納税は、お済みですか？納期限を過ぎて納税した場合、遅れた日数に応じて延滞金が加算される場合がありますので、納付がお済みでない方は至急納税するようお願いいたします。

「町・道民税は特別徴収が便利です！」

根室振興局と羅臼町では、従業員の利便性向上と税負担の公平を図るため、特別徴収の拡大に向けた取り組みを進めています。

町・道民税の特別徴収とは

町・道民税の特別徴収とは、事業主が所得税の源泉徴収と同様に、納税義務者である従業員に代わって毎月支払う給与から町・道民税を徴収し、役場に納入していただく制度です。所得税のように税額計算等をする必要がありませんし、従業員の方々にも様々なメリットがありますので、特別徴収を未実施の事業主の方は、特別徴収への切替えをお願いいたします。

従業員の方々のメリット

- ・ 1年分の納税が12回に分けられ、普通徴収（年4回）に比べて納めやすくなります。
- ・ 金融機関や役場窓口等へ納税に出向く手間がかかりません。
- ・ 毎月の給与から天引きされますので納め忘れがなく、滞納や納税証明が発行できないことを防ぐことができます。

【7・8月の夜間窓口】 〈7月〉7月30日(金) 午後7時まで 〈8月〉8月31日(火) 午後7時まで
※7・8月は、休日窓口を休止いたします。

〈お問合せ先〉税務財政課 TEL87-2113

情

RAISU TOWN
報ひろば

INFORMATION

ヒグマの対応状況をお知らせします



6月27日の夜に、海岸町の1軒のお宅で飼い犬3頭がヒグマに襲われて死傷しました。2019年と2018に飼い犬が被害にあった時と同じ加害個体だということがわかっています。詳細は羅臼町ホームページをご覧ください。

<https://www.rausu-town.jp/topics/view/305>

5月、6月のヒグマ目撃・出没状況

◆対応件数102件（前年度53件）

- ◇ほとんどの町内会で出没
- ◇前年度と比べると件数が倍増しています

5月、6月のヒグマ駆除状況

◆駆除件数2件（前年度2件）

- ◇海岸町で追い払いを行ったが、住宅近くから離れないため1頭を駆除
- ◇本町にて追い払い後も連日にわたり出没したため1頭を駆除



エゾシカを捕食しているヒグマ

ヒグマ対策のお願い

- 生ごみは外に置かない、魚は2階などヒグマが届かない場所に干す、ごみは収集時間の直前に出すなど、皆様のご協力をお願いします。
- 今年も各町内会で草刈りクマ対策を実施しています。誰でも出来るヒグマ対策ですので、自宅や作業場のまわりでも同時期に行くと、より効果的な広域対策となります。

24時間対応

ヒグマの目撃やシカなどの動物の死骸を発見した際は、産業創生課（87-2126）までご連絡下さい。

会員募集 !!

札幌らうす会、東京らうす会

『札幌らうす会』『東京らうす会』は、各地域に住む羅臼町出身者や羅臼町を応援していただける方で構成され、生まれ育った羅臼を応援したい、羅臼の方達と交流を図りたいとの思いから、各イベントでのPR活動や交流会など様々な活動に取り組まれています。

近年は、羅臼町からどなたが移住してきているのか分からないため、お声掛けもできず会員不足に悩まされており、事業の実施が厳しくなっています。

皆様のご家族やご友人で札幌・東京近郊にお住まいの方がいらっしゃいましたら、ぜひ紹介いただき羅臼を応援する『らうす会』の輪をふるさと広めていただけませんか。

また、両会と連携する地元の組織として『故郷らうす協力会』も広報の送付や各会の総会へ参加し交流・情報交換などの活動をしています。故郷らうす協力会へもぜひご参加いただければと思います。

ご紹介いただける場合は、各会へ直接ご連絡いただくか、産業創生課（故郷らうす協力会）でも受け付けておりますので、気兼ねなくご連絡ください。

《お問い合わせ先》

●札幌らうす会 事務局
sapporo_rausukai@yahoo.co.jp

●東京らうす会 事務局
rausu@tokyo-rausu.jp

●故郷らうす協力会 事務局
産業創生課 TEL:0153-87-2126

おくやみ申し上げます



赤ちゃん誕生



(敬称略)

加藤 隆榮 様
(令和3年5月11日～令和3年7月10日受付分掲載)

【その他、目的達成のために
町長が必要と認める事業】

知床・羅臼まちづくり基金

山下 明久 様

【ランニングマシン】

村田 泰次郎 様

【ポルダリングウォール】

らうすぽ (羅臼町民体育館) 備品

寄付・寄贈ありがとうございました

町長室

『日本人の活躍』



最近、コロナや豪雨災害などの心が沈みがちなニュースが多いですね。そんな中、日本人の活躍は本当にうれしいものです。中でも一番の話題は、大リーグで驚異的な活躍の「大谷翔平」選手ではないでしょうか。二刀流でのホームラン数やピッチングのみならず、勤勉さや礼儀正しさ、優しさや思いやりなどなど、日本人の美学とも言える振る舞いをする大谷選手の姿が毎日のように大きく取り上げられています。一人の日本人青年が日本のイメージを大きく変える活躍をしていることに、みなさんも誇りに思っているのではないのでしょうか？

賛否両論ありましたが、東京オリンピックも始まりました。日本人の活躍を家族や友人とテレビで応援しましょう。私たちも、人にやさしく誇り高い日本人として過ごしたいですね。

人の動き

令和3年6月末現在 ()内は令和3年5月末対比

人口 4,624人 (-12) 男 2,305人 (-9)
世帯 2,037世帯 (-4) 女 2,319人 (-3)

編集後記

夜に車を走らせていると橋の欄干にフクロウの姿を発見しました。偶然、フクロウと出会うのはこれで4回目。どんなに静かに近づいたとしても、飛んでいってしまうのは過去の経験から学んでいたもので、今回は車のライトを消して少し遠くから様子を見てもやはり気付かれてしまいました。満目に目に焼き付けることは出来なかったですが、その姿をみられただけでも福が来そうな予感がします。またいつか偶然に会いたいものです。(A)

羅臼町民憲章

(昭和45年9月15日制定公示)

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然にはぐくまれた、羅臼の町民です。

- 自然を愛し先人の強い意志ををうけつぎます。
- 健康で明るくたのしい家庭をつくります。
- 教養を高め、豊かな情操を育てます。
- 仕事に誇りをもち、はたらく喜びに生きます。
- 子どもたちの夢と、若い力を育てます。



世界自然遺産のまち・知床羅臼町

■広報らうす 令和3年7月号

編集／羅臼町 企画振興課 企画振興係
〒086-1892 目梨郡羅臼町栄町100番地83
☎0153-87-2114
<https://www.rausu-town.jp/>